

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 多文化共生の地域づくりを（30分）</p> <p>現在、鶴ヶ島市には、様々な国籍を持つ外国人登録者が居住しています。「鶴ヶ島市地域防災計画」によれば、平成27年4月1日現在で、避難の際の要配慮者として外国人859人、人口構成比1.1%となっています。</p> <p>最近の異常気象による水害、また、日本は、年間10万回ともいわれる地震大国です。地震のない国から来た人は、防災に対する意識や災害時に避難の必要性が理解できないことがあると聞きました。</p> <p>また、避難所でも、文化・生活習慣の違いから起きるトラブル、緊急の情報を発信する際の多言語での対応などの課題が想定されます。</p> <p>病気や事故、災害などの緊急事態だけではなく、学級閉鎖にもなるインフルエンザの流行や、受給者の国籍は問わない児童手当など新制度の情報は、外国人住民に届いているのでしょうか。</p> <p>「第5次鶴ヶ島市総合計画後期基本計画」施策16市民活動の促進で、地域での外国人との交流の機会や接点と、生活する上で欠かせない情報の提供や外国語による案内・表示の不足を課題としてあげています。</p> <p>2017年4月（6月8日ホームページ掲載）、埼玉県では「埼玉県多文化共生推進プラン（平成29年度～33年度）」を策定しています。</p> <p>生活支援の側面だけではなく、共に参加できる地域づくりの視点から多文化共生について市の取組をうかがいます。</p> <p>（1）外国人居住者が生活する上で欠かせない情報の提供 ア 防災について イ 制度の案内 ウ 自治会、PTA活動等の案内 エ 資源分別の案内</p> <p>（2）日本語を母国語としない児童生徒への日本語指導は。 ア 小学校での日本語教室 イ 高校進学ガイダンス</p> <p>（3）外国人相談窓口について</p> <p>（4）多文化共生の地域づくりに向けての具体的施策は。</p>	<p>市長 教育委員会教育 長</p>

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>2 保育の質を維持、向上するための環境を（30分）</p> <p>待機児童を解消するために保育の整備が進んでいます。政府は、待機児童を減らすため、保育士の配置基準を緩和するなどして受け入れ可能な「量」の拡大を目指していますが、子どもにとって大切な保育の「質」はどうなっているのでしょうか。</p> <p>世田谷区では、子どもを中心とした保育の実現に向けて「世田谷区保育の質ガイドライン」を公開しています。ガイドラインでは、職員の資質、保育環境、保育内容、安全管理など7分野で「乳幼児の発達過程を理解し、子ども一人一人の成長・発達に合わせ見通しを持った援助ができる」「子どもの好奇心、探究心、思考力などが育つよう、子どもが自ら興味を持って遊べる保育」などの具体的な目標を掲げています。</p> <p>全国的に、少子化による子どもの減少や保育士不足が問題となっていますが、子どもにとってより豊かな経験を保証する保育の環境と、保育士の専門性を高められるように支援していくことが自治体に求められていると思います。</p> <p>当市には、現在、川鶴保育園も含めると4か所の公立保育所（園）と、社会福祉法人立の認可保育園が9園、認定子ども園が1園あります。わかば保育ステーション以外は認可保育園となっていますから、物的環境（面積基準）については問題ないと理解しております。公立も社会福祉法人立も、いずれも保育の質が確保できることを市民は望んでいます。</p> <p>当市の子育て支援の柱は、待機児童が少ないこと、ひろば事業が充実していることが特徴ということですが、「量」とともに求められる「保育の質」についてうかがいます。</p> <p>(1) 保育士等の配置</p> <p>ア 低月齢の乳児の受け入れ態勢は。</p> <p>イ グループ規模の現状は。</p> <p>(2) 保育内容の充実</p> <p>ア 開所時間中の保育士の配置は。</p> <p>イ 短時間保育士と非常勤保育士の配置の現状は。</p> <p>ウ 保育ソーシャルワーカーの配置について</p> <p>(3) 質の高い幼児期の教育・保育の支援</p>	市長